

これまでの総合教育会議の成果報告

英語を活用したコミュニケーション力向上プロジェクト事業 (平成29年度 第2回、第3回)

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3)	市債	その他	
30年度予算額	19,861	4,596			15,265
前年度予算額	-				-

事業目的	異なる文化の人々と自信をもってコミュニケーションをとることができ、地元への愛情をもちながら国際的に活躍できる子どもを育てる。
------	--



実施状況	<p>1 英語が堪能な地域人材 (GET) の活用 本年4月に28名を選任し、各小学校5、6年生の外国語科の授業へ配置し、発音の指導や絵本の読み聞かせを行ったり、静岡市独自教材を元に静岡についての英語表現等について指導をしている。</p> <p>2 授業以外で英語に接する機会の拡充 ○イングリッシュキャンプ 8/6~8に静岡市立高校にて開催し、113人の小中学生が買い物ゲームやグループごとプレゼンテーション等を実施 井川自然の家から市高に場所を変更し、また開催日を3日設けたことで、昨年に比べて約3倍の児童生徒が参加 ○イングリッシュカフェ 月1回、放課後や昼休みにALTと気軽に会話できる場を提供 各中学校で毎月テーマを決めて実施しており、賤機中学校では、「お茶をしましょう」というテーマで、英会話に挑戦 ○イングリッシュデイ 月1回、授業以外でもあいさつや昼の放送等で英語を使う日を設定 各小中学校で実施しており、水見色小学校では、イングリッシュデイには朝の会や職員室への入室を英語で実施</p> <p>3 授業の充実 ○静岡市独自教材作成：6月に各小学校へ配布し、授業で活用中 ○英語検定の受検補助：平成30年度第1回検定分から補助開始</p>
------	---



地域人材 (GET) 活用事業



イングリッシュキャンプ

事業効果	<p>○教員とGETが、全体への指導と個別指導を相互に行うことで、より手厚い外国語の授業を展開</p> <p>○子どもたちだけでなく、教員も、英語についての実体験に基づく深い知識や情報を獲得</p> <p>○イングリッシュキャンプ、デイ、カフェは、子どもたちの「もっと英語を話せるようになりたい」「もっと英語を知りたい」といった英語への親しみが向上</p>
------	--